

HOYOG

教区新報

浄土真宗本願寺派 兵庫教区教務所
〒650-0011 神戸市中央区下山手通8丁目1番1号
(本願寺神戸別院内)
電話 神戸 (078) 341-5949 (代)
【編集】教区基推委広報部

2003.7 135号



愛生園 真宗会館の前でご門主を囲んで

ご門主様 愛生、光明へ

大谷光真ご門主三十五年ぶりに長島へ

岡山県邑久町にあるハンセン病国立療養所・邑久光明園の西本願寺会館と、長島愛生園の真宗会館が共に、今年で建立四十五周年を迎え、五月十三日にご門主臨席のもと、記念の集いを開催した。

在園者や宗門関係者ら多数が参拝し、四十五周年を祝った。午前中は光明園にて「西本願寺会館四十五周年記念の集い」が開催され、在園者

の真宗門徒でつくる真宗法話会の会員四十名が参拝した。お勤めのあと、ご門主がお言葉を述べられた(要旨別掲)。

続いて吉田藤作会長が「ラ イ予防法は廃止され、ハンセン病国賠訴訟も勝訴したが、いまだに差別・偏見は著しい。病気の誤った見解が一刻も早く正されるべき」と訴えた。

午後には、長島愛生園にて真宗同朋会の集いが開催

された。会員七十名が参拝し、お勤めに続いてご門主がお言葉(要旨別掲)を述べられるとともに、多田芳輔会長が園の歩みを語った。

ご門主は、両園の納骨堂に参拝・焼香された。

また、両園には在園者の会員のほか、赤穂南組・岡山南組をはじめ、教区基推委代表者や十方会々員、安芸教区などから五十七人が参拝し、両園において三十年にわたって月一回の法座を開催している「十方会」の杉本昭典会長が法話した。

なお、両園の会館は一九五八年の「親鸞聖人七百回大遠忌」を記念して建立され、大谷光真ご門主のご訪問は二十五ぶり。

ご門主は五月十三日に愛生・光明園でお言葉を述べられたが、その内容(要旨)は次の通り。

◇ この度、四十五周年記念の集いに出席できましたこと、誠に有り難く思います。思い起こしますと今からちょうど二十五年前、門主継職の一年後の五月二十四日に邑久光明園・長島愛生園を初めて訪問し、帰敬式をいたしました。ずいぶん若かったと思いますが、その

(二面に続く)

教区だより		7月・8月	
15日	○常例法座 講師:井上朋義師 (16日まで)	30日	○寺婦 教区寺婦研修会
17日	○教区会 第125回臨時教区会 10:30~	31日	○保育 東西真宗保育研修会
	○仏婦 但馬ブロック研修会 9:30~	8月1日	○暁天講座 講師:宏林晃信師 7:00~
	生野町民会館にて	2日	○門推の日 10:00~
18日	○仏婦 丹波ブロック研修会 9:30~		○第一土曜仏教講座 13:30~
	多紀組尊宝寺にて		講師:櫻井瑞彦師
	○第2回日校指導者連続研修会 18:30~		講師:和田宏之師 7:00~
19日	○保育 第24回全国保育大会 (20日まで)	3日	○暁天講座 講師:幸務清子師 7:00~
	長浜文化会館にて	15日	○孟蘭盆会 講師:井上博雄師 13:30~
21日	○総代会 総代1泊研修会 (22日まで)	21日	○第4回本願寺派スカウトキャンボリー (24日まで)
23日	○基推連 研部会 10:30~	23日	○ピハハラ ふじの里夏祭り
	○矯正 総会・研修会 15:00~	25日	○社会対応部門会議 13:00~
	○勤式指導所	26日	○寺婦 正信偈連続講座
26日	○仏青 全国真宗青年の集い (27日まで)		○少年 第3回日校指導者連続研修会 13:30~
	東播ブロック研修会 高砂組真浄寺	28日	○教区会議員研修会 (29日まで) 本山にて
30日	○少年 サマースクール 山口教区にて (8月1日まで)	30日	○ピハハラ 第10回ピハハラ活動全国集会 芦原温泉にて (31日まで)

正信偈連続講座 開講に当たり

浄土真宗の寺族婦人であるならば、正信偈やご和讃は是非聞かせて戴かねばと思われたい。正信偈は親鸞様の信心の偈であり、喜びの偈であるといわれます。そのお心をしっかりと聞かせて戴きたいと思えます。寺族婦人の皆様は今までも聞いておられると思いますが、何度聞かせて戴いても、その時、その年代で聞き方も変わり、味わいも変わると思えます。もう一つの目的に、寺族婦人間の横のつながりを深めるということ。寺婦の結束は、各組各寺でも寺婦・若婦・青少年への影響も大きく、寺婦の活動こそが次世代への活性化につながる。と確信しております。寺婦の教区での研修会は年に一度しかありません。本年は七月三十日(水)に開催予定です。一回でも多く会員同士が集えることを目的として、正信偈連続講座と、仏教賛歌を歌うコーラ



熱心に学習する坊主

カンタータ 歎異抄 CD発売

作曲家・音楽研究家で姫路東組正楽寺住職の大谷千正師が作曲された「カンタータ 歎異抄」のCDが六月二十日に発売。

「カンタータ 歎異抄」は、親鸞聖人七百五十回大遠忌を展望した仏教音楽普及振興策の一環として平成十二年に制作。「念仏は無碍の一道なり」など「歎異抄」の一節を抜粋、「三帰依」「念仏」「和讃」など九つの楽章で構成され、本格的な西洋クラシック音楽のスタイルを採



お盆の「法」を 御門徒へ

年に三回発行しております「法」シリーズ。今回は道元徹心師(神姫組泰法寺住職)にご執筆いただき、お盆号を作成いたしました。

今回も一部二十円(送料は実費で、百部以上の場合、寺号を無料で印刷いたします)

阿部敏之(神戸西組善海寺前住職) 6月5日、82歳 往生

松上ちづ(神崎組正善寺前坊主) 6月8日、90歳 往生

高崎喜代子(北摂組正光寺前坊主) 6月10日、92歳 往生

※6月15日現在



敬吊

児嶋貞子(赤穂南組浄念寺前坊主) 5月12日、85歳 往生

道浄壽子(新宮組勝願寺衆徒) 5月27日、90歳 往生

津守秀導(神戸東組照光寺住職) 5月28日、67歳 往生

寺島文夫(加古川組金正寺住職) 5月29日、70歳 往生



五十年の人生で、今年の元旦ほど衝撃的な日は有りませんでした。例年のごとく除夜の鐘をつき、大根煮を食べて本堂で礼拝をするのですが、今年は多くの小学生が参拝してくれました。子供たちの間で、願い事を一つ紙に書く相談をしていました。私は、子供たちをはじめ、参拝者に「願い事を書くのではなく、今年一年自分の決意と名前を書いてローソクに巻き付けてお供えをしよう」と一人の子供が、どうしても名前を書かないので、理由を尋ねたところ、「火を付けたらローソクがチビルやろ、僕の名前もチビルやん」「そやや、最後にチビルやん」「そやや、名前なくならんや、名前なくならんや」と総代さんがぼつりと言、「ワシのローソクどのあたり燃えてるやろ、毎日いのちの炎燃やし続けているからな」◆火の付いたローソクを眺めていると、風中の炎はやがて燃え尽きます。生者必滅・会者定離、自分自身の「いのち」有りようを考えてみては。

高崎正英

当時、どのようにご挨拶を申したらよいか、非常に苦慮し戸惑ったことをよく覚えております。多分、当時の私には、在園者のみなさまにとって浄土真宗のみ教えがどのような意味を持っているのか、どのように受け取っていただけているのか、私自身の考えが十分にとまらなかつたからであるうと思ひ返すこととございます。

その後、本願寺宗門におきましては、さまざまの出来事がありました。それらを通じて次第に明らかになってきましたことは、宗門として大事な点が見抜けなかつた、ということであり、大きな点とは、ハンセン病そのものについて、そしてさらにはハンセン病を患った元患者の方々が、その後、社会的、あるいは法律的にどのような地位に置かれていらつしやるかということも十分理解していかかつたということであり、

老・病・死は、この世に生をうけた以上、誰も避けることができません。現代の医学などによりまして、いちおうの対処はできますけれども、根本から解決することはできません。親鸞聖人のみ教えを聞かせていた

だきますことは、この人生の根本問題を阿弥陀如来さまのお慈悲の中に生かされ、共に生き、共に死を迎える者として解決してゆくこととあります。いのちの課題を「我が事」「ひと事」というふうにより離して別々に閉じこもってしまうのではなくて、御同朋御同行として往生浄土の道を歩むこととあります。

私たちの宗門では、さまざまなかたちで皆さまとの交流に力を入れてまいりましたけれども、共に生きることを妨げている社会の問題に十分気づかなかつたというところは、誠に悲しく残念なことであります。皆さま方には、この会館に集い、親鸞聖人のみ教えを聴聞され、阿弥陀如来さまのおこころを味わわれ、喜びや悲しみを共にしてこられたことと思ひます。南無阿弥陀仏は私が名付けた名前ではなくて、阿弥陀如来さまが私のところに来てはたらい

て下さるお名前、および声であります。当てにならない私、自分中心にしか動けない私の全体を撰め取って往生成仏させて下さるおはたらきの中で、私たちはおぼつかないながらも、大切な一日一日を過ごさせてい

御同朋総結集に向けて

来年度に開催予定の「兵庫教区御同朋総結集大会」に向けて、昨年度から各組においても大会が計画されており、現在、教区で把握しております各組の開催状況は次の通りです。▽阪神東組 二〇〇三年九月六日、伊丹ホールで予定、講師は駒沢勝氏▽阪神南組 二〇〇三年五月三十一日、尼崎のアルカイックホール・オクトで実施された。講師は青木新門氏、吉本興業も出演、参加者六五〇人▽阪神西組 二〇〇三年十一月十六日、西福寺で予定▽阪神北組 二〇〇三年六月二十八日、川西市みつなかホールで実施。講師はひろさちや氏、参加者五〇〇人▽神戸東組 二〇〇三年三月七日、東灘区民センターで実施。講師は森乃福郎氏、漫才落語の実演など、参加者五一〇人▽神戸中組 二〇〇三年一月二十五日、神戸別院で実施。講師は西池哲俊師、各教化団体意見発表、参加者二五〇人▽神戸湊組 二〇〇二年九月七日、西幸寺で実施。講師は藤栄行信師、組の展望を語る会の報告発表、参加者二〇〇人

▽神戸西組 二〇〇二年十月二日、金楽寺で実施。講師は本多隆明師、漫才落語、参加者二〇〇人▽北摂組 二〇〇三年六月二十二日、明楽寺で実施。講師は西池哲俊師、仏前模擬結婚式、参加者二五〇人▽神明組 二〇〇三年一月二十五日、明石ロイヤルパレスで実施。講師は兪洪子氏と井上教務所長、参加者一八二人▽淡路組 二〇〇三年十月十三日、洲本市淡路勤労センターで予定、講師は結城恵聞師▽播磨東組 二〇〇三年八月三十日、グリーンピア三木で予定▽播磨中組 二〇〇二年九月八日、善称寺で実施。講師は藤栄行信師、各教化団体の取り組み発表、参加者二二〇人▽多可組 二〇〇三年九月六日に予定▽加古川組 二〇〇三年三月一日、加古川市民会館で実施。講師は高橋廣爾師、各寺院協議会報告、参加者三〇〇人▽高砂組 準備中▽神崎組 準備中▽神姫組 準備中▽姫路東組 二〇〇三年九月十三日、姫路市民会館で予定、講師は利井明弘師▽姫路南組 準備中▽姫路中組 二〇〇二年九月

お慈悲の中に精いっぱい過された皆さまの人生は、誠に貴重なものであります。病の苦しみ、その後遺症、さらには社会的な差別の中、そして今日では高齢化による課題も抱え、互いに助け合い、お念仏とともに生き抜かれました人生を、私たちは決して忘れることができません。四十五周年を機縁に、会館設立よりはるか以前、この会に参加され、すでにお浄土に往生された方々のご苦勞を偲び、今日まで仏法興隆に尽くされた皆さまに感謝し、共にお念仏に生かされる有り難さ、大切さを心に刻みまして、本日のご挨拶といたします。

(文責在記者)

HO日誌

◆5月3日 第一仏教土曜講座、ご講師は本願寺派布教使 安方哲爾師／門推の日◆6日 日ビハラ総会◆7日 別院団参、若藤会／別院仏教婦人会定例法座、ご講師は加古川組普光寺、近藤龍樹師／矯正、播磨学園にて教誨◆8日 青僧会総会、連続研修会、講師は信

楽俊磨師／揖龍西組御巡教、一行寺、9日は専龍寺・浄栄寺・明正寺にて◆9日 少年、40周年記念行事実行委員会◆10日 スカウト総会◆11日 別院団参、東海教区善教寺◆13日 愛生・光明園西本願寺会館45周年の集い(門主ご臨席)◆15日 別院常例法座、ご講師は阪神南組正光寺・波多正宣師(16日まで)◆16日 別院団参、真宗高田派常信寺◆17日 保育、近畿新任補任式◆18日 別院降誕会、ご講師は和歌山教区願成寺・高橋厚生師◆19日 保育、総会・主任会／総代会、全国門徒総代会総会(本山にて)◆20日 仏婦、常任委員会／社推協、総会◆21日 矯正、大阪管区支部連絡協議会評議員会(津村別院にて)／別院団参、安芸教区山県太田組明法寺／教区動式指導◆22日 長島愛生園降誕会、ご講師は神崎組浄光寺・高崎正英師／邑久光明園降誕会、ご講師は北摂組光澤寺・杉本昭典師◆23日 寺婦、コーラス勉強会◆24日 仏青、近畿ブロック連絡協議会(滋賀教務所にて25日まで)◆別院団参、大阪教区石川北組光盛寺・六粟組教専寺◆26日 布教団、役員会／少年、第1回日校指導者連続研修会／別院団参、

二十八日、法性寺で実施。講師は谷川弘頭師、葬儀リフレット説明、参加者二〇六人▽姫路西組 準備中▽網干組 準備中▽揖龍東組 二〇〇三年八月十九日に予定▽揖龍西組 二〇〇三年八月三十日、一行寺で予定、小西達也氏のトークとコンサート▽新宮組 二〇〇二年十月十九日、明専寺で実施。講師は西脇修師、分科会、参加者五五人▽赤穂南組 二〇〇二年四月一日、赤穂文化会館で実施。講師は駒沢勝氏、参加者四二〇人▽赤穂北組 二〇〇三年九月二十七日、専称寺で予定、講師は外松太恵子師▽粟粟組 二〇〇四年三月七日、願寿寺で予定▽佐用組 二〇〇三年八月十九日、南光町文化センターで予定、講師は藤田徹文師▽多紀組 二〇〇二年七月二十八日、篠山市民会館で実施。講師は内田宏圓師、物故者追悼法要、参加者二〇〇人▽氷上東組 準備中▽氷上西組 二〇〇二年九月十六日、正福寺で実施。講師は西池哲俊師、一万人大会に向けての課題発表、参加者二〇六人▽朝来組 二〇〇三年十一月五日に予定▽養父組 二〇〇三年八月三十日、八鹿町みふね会館で予定。講師は谷川弘頭師▽出石組

二〇〇三年八月二十四日、正福寺、ひほこホールで予定、講師は中西智海師、雪ん子劇団▽城崎組 二〇〇二年八月二十五日、ホテル幸祥で実施。講師は結城恵聞師、組内全寺院紹介ビデオ、各教化団体発表、参加者五三九人▽岡山南組 二〇〇三年六月二十六日、岡山市ふれあいセンターで実施。法話は牧野弘明師、落語は桂文枝氏、参加者三三〇人▽岡山北組 準備中。

北摂組では、昨年七月十日準備委員会を結成(全てのの住職および前任住職と寺族婦人会、総代会、仏徒連盟、仏徒連盟の会長・副会長と門徒推進員の計三十三名)し、以後実行委員会として御同朋結集大会を進める中、本来の意義を大前提とする熱い意見を集約し、二千人大会の問題提起を原典に、門徒推進員(西畑博亮氏)の「学ぼう連研のこころ」(関山清氏)の「いきいき

と題して記念講演をお願いしました。特に、イベントや演芸もいろいろ浄土真宗にふさわしいもの、「仏前結婚式」等をやればどうかと、門徒推進員の方より案が出され、協議を進め模擬結婚式をやることになりました。衣裳の無償提供の申し出もあり、また門徒推進員の努力により既に結婚式を挙げていないご夫婦が二児の親でこれまで事情で「是非とも」とのご夫婦がご参加いただいた部会を持ち、式次第の説明・確認、

度には渡って取り込みました。その結果、時間も予定通りの三十分で出来るようになり、当日には本山本願寺出版社より取材に來られました。

また、記録をとるためにビデオスタッフ、写真スタッフを依頼し、当日目標二百五十名をはるかに上回る三百名のご参加を頂き、本堂満堂はもちろんです。本堂も満員になりました。総代会会長(坂元一美氏)より「決意表明」宣言され、大盛會裡に終了することができました。

組巡教



安芸教区広陵東組報恩寺若坊守会◆27日 寺婦、第一回正信偈連続講座◆28日 教宗寺

平成十五年五月八日(木)、九日(金)の二日間にあつて揖龍西組(木下義昭組長)において即如ご門主組巡教が行われた。今回の巡教をもって、兵庫教区すべての組が終了した。組巡教にはご門主、随行长の桑羽隆慈総務、随行講師の吉田俊宣師(福井教区若狭組西光寺住職、井上博雄教務所長らが列席した。八日には一行寺(木下義昭住職)において帰敬式・式典・法座が行われた。帰敬式では、男性七十九名、女性百十六名の合わせて百九十五名の方が受

新郎新婦は目頭も熱く

会に合唱隊をお願いし歌唱練習を行って頂きました。大会前にも会所寺でスタッフ全員で本番そのもののリハーサル最終チェックを二

式された。また、式典には百八十五名、法座には百五十三名の参加があり、組内の僧侶は五十名の参加があった。帰敬式・式典・法座共に、厳かな雰囲気につつまれていました。法座では、少子・高齢化になりつつある現代での寺院運営についてや、寺院開放による活性化などが話し合われた。九日には専龍寺(辻清昭住職)、浄栄寺(小宅風留住職)、明正寺(堀正昭住職)に巡回され、それぞれにおいて記念撮影や記念植樹をされた。

北摂組組長 山内 純